

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 笠松の郷

作成日：平成 30 年 9 月 11 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議を定期的で開催しているが、参加委員が固定化し、報告が中心となっているので、会議の運営や議題について検討し、参加委員にとっても、知識や情報を得る機会になるような有意義な会議にしていく。	参加委員として、薬剤師や歯科衛生士、社会福祉士、訪問看護師等を招聘してミニ勉強会を実施したり、ホームのレクリエーションや避難訓練、試食会への参加等、内容を工夫して会議の活性化を図り、地域の課題(介護予防への取組等)解決に繋がるような会議運営を目指していく。	12ヶ月
2	16	同業者との交流を通じた向上	まず、内側(ホーム内)の充実を図るために、2年前にグループホーム協議会、GHみやわかを退会したが、職員が定着し、落ち着いてきたので、地域の他事業所との交流を再開し、他を知る事で自らを振り返り、質の向上に繋げていく。	当ホームや自分達のしている介護サービスの優れている所や課題に気づき、スキルアップを図るためにも、同業者と交流する機会を設け、情報交換や研修を通して学び合い、職員の視野を広げていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。